

「伝統文化を受け継ごう」～落語に挑戦～

挑戦問題 『たくさんの人を笑顔にできる新しい自分づくりに挑戦しよう!』

本単元で育成する資質・能力

感謝・貢献 責任・使命 挑戦・探究 協力・協働 思考・表現 情報収集・判断 知識・技能

期待される生徒の変容

日本の伝統芸能である落語に挑戦し、日本の伝統文化を理解するとともに、表現力の育成をはかり、「笑い」や「人を楽しませる」ことの価値に気づくこと、稽古を通して友達と切磋琢磨しながら、人を楽しませることのできる自分の成長を感じる中で、主体性を育成する。

最後に、落語で習得した技能を使い、お世話になっている家族や友人、地域の人の前で、感謝の気持ちを込め、落語を中心に日本の伝統文化（なぞかけ、大喜利等）を披露して楽しんでもらうことで、表現活動の醍醐味を味わうとともに、後期の様々な表現活動へ主体的に取り組むためのさらなる挑戦心を育む。

平成29年度の取組より

Before【生徒の振り返りシートより】

- ・「長くてめんどうくさそう」と思ったけど、落語には悲しんでいる人笑わせる力があると分かったので、みんなのために、ということをお忘れず、丁寧に取り組んでいきたい。
- ・「落語」は苦しんでいる人も笑わせることができることを知った。誰かのためになるなら、がんばってみたいと思う。
- ・「笑い」は誰にでもできるように、難しいと思った。クラスも笑顔にしていきたいので、「本当の笑い」について考え、みんなを笑わせたいと思いました。
- ・この活動を通して、人を笑わせることができる自分になりたい。どんな表現をすれば相手が笑ってくれるのかを考えながら練習したいと思いました。
- ・表現するのが得意ではないので、自分をしっかり表現し、相手意識をしっかりとって取り組みたい。



After【振り返り】

- ・台詞を覚えるのが難しく、なかなか覚えられなかった。小学校のときはすぐに諦めていたが、家でも何度も何度も練習して覚えられるようになったことに、自分でも驚いた。難しくても挑戦しようという気持ちを持つことができるようになったと思います。
- ・落語を覚えてから、皆の前で発表するときは、緊張して頭が真っ白になることがありました。でも、何度も皆の前で発表したら、6年生の前で発表するときはすらすら言えるようになりました。落語のときも、「なぞかけ」の練習をするときも、みんなでアドバイスをし合うことで、どうしたらみんなを笑わせることができるか、協働して考えることが出来ました。最後までやり遂げる力は、これから先もいろんな場面で必要になってくるので、日ごろから掃除や班活動もしっかりやっていきたいと思います。
- ・地域の「ふれあいサロン」で発表できました。たくさんの方が笑ってくれたので、緊張がなくなり、楽しく発表することができました。以前は笑われるのが大嫌いでしたが、笑われることや人が笑顔になることがとても楽しかったです。これからはたくさんの人を笑顔にしたいと思いました。来年の1年生にも落語のおもしろさや魅力を伝えていきたいと思いました。
- ・「責任・使命」の力を成長させることができた。クラスから選ばれたので、責任を持って披露しようと思ってがんばった。地域の人を笑顔にすることが自分の使命だと思ったので、一生懸命頑張った。地域の方が笑ってくれたので、とてもうれしかったです。文化祭での大喜利は、一人一人の役割は小さくなったが、みんなが責任を持って演じてくれた。「新しい自分づくりに挑戦」という大きなめあてを、達成できたと思った。周りの人を楽しませることで、自分も楽しくなれるんだと分かった。



平成30年度指導計画・ワークシートの改善のポイント

- ・平成29年度の取組では、「新しい自分づくりに挑戦」というめあてに従って取り組んだので、成果が得られた。計画では全員が落語を披露することになっていたが、今回はクラスの実態に合わせ、落語で学んだ技能を生かして、なぞかけ、大喜利等を含めた日本の伝統文化を披露し、笑いや伝統文化の良さを伝える活動に幅を広げた。落語での取組に倣って、協働的に意見を出しながら工夫して練習できた。また一人一人に発表できる舞台を用意したため、自信をつけた生徒が多く見られた。